

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-190	23-333	慶應義塾大学 加藤眞三
題名 (原題/訳)		
Barriers and Opportunities for WHO "Best Buys" Non-communicable Disease Policy Adoption and Implementation From a Political Economy Perspective: A Complexity WHO「ベストバイ」非感染性疾患政策の採用と実施における障壁と機会：政治経済学的視点からの複雑性		
執筆者		
Loffreda G(1), Arakelyan S(1), Bou-Orm I(1), Holmer H(2), Allen LN(3)		
掲載誌		
Int J Health Policy Manag. 2024;13:7989. doi: 10.34172/ijhpm.2023.7989. Epub 2024 Feb 4.		
キーワード	PMID	
非感染性疾患 (NCD)、政策、商業的決定要因 (CDoH)	38618832	
要旨		
<p>背景：非感染性疾患 (NCD) を抑制するための政策の採用と実施を改善することは、より良い世界的な健康状態を実現するための大きな課題である。このような政策の採用と実施は、促進要因と阻害要因に関する洞察が限られているため、さまざまな状況において依然として不十分である。これらの政策は、伝統的に技術的な解決策として扱われており、政治経済の力学が及ぼす重大な影響を無視している。さらに、これらの介入の複雑な性質は、政策立案者の根拠として十分に組み込まれていないことが多い。本研究では、非感染性疾患 (NCD) 政策の採用と実施に影響を与える要因を系統的に調査・評価することを目的としている。</p> <p>方法：世界保健機関 (WHO) の「ベストバイ」NCD 政策の採用と実施について論じた論文の複雑系統的レビューを行った。政治経済要因を特定し、NCD 政策の採用と実施に影響を与える要因間の相互作用を解明するための因果ループ図 (CLD) プログラム理論を構築した。合計 157 本の論文が、本研究の対象基準を満たした。</p> <p>結果：我々の CLD は、3 つの重要な変数を含む中心的なフィードバック・ループを強調している。すなわち、(1)適切な政策を定義し、再構築し、法律として成立させる能力、(2)政策を実施する能力 (政策の強制力および NCD の地域的負担への対応と関連)、(3)進捗状況を監視し、評価し、軌道修正する能力、である。文脈に特化したデータが不十分であると、特に複数の疾病負担に直面している地域において、適切な政策の策定と施行が妨げられる。政策の採用と施行の両方において、多部門間の協力が極めて重要な役割を果たす。効果的なモニタリングと説明責任システムは、政策の施行に大きな影響を与える。健康の商業的決定要因 (CDoH) は、たばこ、アルコール、食生活に関する政策の定義、採用、実施の大きな障壁となっている。</p> <p>結論：世界的な取り組みを推進するために、私たちは、強固な説明責任、モニタリング、評価システムの構築に焦点を当てることを推奨する。また、民間部門の関与における透明性を確保し、状況に応じたデータ収集を支援し、CDoH を効果的に管理することを推奨する。システム思考のアプローチは、複雑な公衆衛生介入の実施を強化することができる。</p>		